

あいの実 小平通信

～あんず・りんご・かりん～



あいの実小平の植え込みでは春から初夏にかけて様々な花が楽しめます。あんずや桃の花に始まり、桜、ボケの花、芝桜のじゅうたん、さつき、そしてハナミズキや夏みかんの花へと移っていきます。

3月は、施設の中もたくさんのスタッフ手作りの花で飾りました。あんず、りんごでは卒室するお子さんとの思い出を振り返り、新しい世界でたくさんの出会いがありますようにと皆でお祝いし、笑顔で送り出しました。

4月の始めは新たにかりんの仲間となるご利用者の入所式が行われました。ついこの間まで高校生だったフレッシュなみなさんの登場にスタッフも心弾み、背筋の伸びる思いです。初心にかえりご利用の皆さんの気持ちに寄り添った丁寧なケアを目指そうと思いを強めております。

あいの実小平は4年目を迎えました。

生活介護かりんは5名の仲間が加わり16名になりました。放課後等デイりんごは、1名が卒室、昨年度のキャンセル待ち利用のお子さんが定期利用となり22名に、児童発達あんずも1名が卒室し、昨秋より半年間で3名のお子さんの利用が始まり現在13名となりました。

丸3年続いたコロナ感染対策も緩和されつつあり、5月の連休明けにはインフルエンザと同じ感染症法5類への引き下げの見込みです。まだまだ油断はできませんが、引きつづき状況を敏感に察知し感染対策をしながら、保護者のみなさんや地域のかたがた、ボランティアの受け入れなど積極的に交流できる機会を増やしていきたいと思っております。今年度もよろしくお願ひいたします。



避難訓練を実施しました

3月28日(火)にあいの実小平障害児施設合同の避難訓練を行いました。今回は、「震度6の地震発生、その後厨房で火災発生」という想定のもと、まずは施設内でご利用者の安全確保をして、その後全員で屋外へ避難しました。

また、停電により移乗リフトや医療機器が使えなくなる可能性を考え、体の大きなご利用者が安全に車椅子に座れるよう人力での介助の注意点確認や、非常電源(発電機)を使用しての医療機器の操作確認をしました。スタッフひとり一人が訓練の中で気づいた危険箇所や問題点を出し合い改善をしています。

施設全体の訓練は3月と9月の年2回行っていますが、訓練の時だけでなく、常に防災への意識をもち改善していくことが大切です。施設入口に施設の「災害時事故対策マニュアル」も備えておりますのでご来所の際はお手にとってご覧ください。

あいの実小平の施設は耐震に優れており、小平市の「福祉避難所」にも指定されています。大きな災害の際には、ご利用者はスタッフと安全にご家族のお迎えをお待ちしています。ご家庭でも災害時ということが起こるか、話し合う機会をもっていたいただければと思います。

